# 相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165

## 春の日ざし心地よく

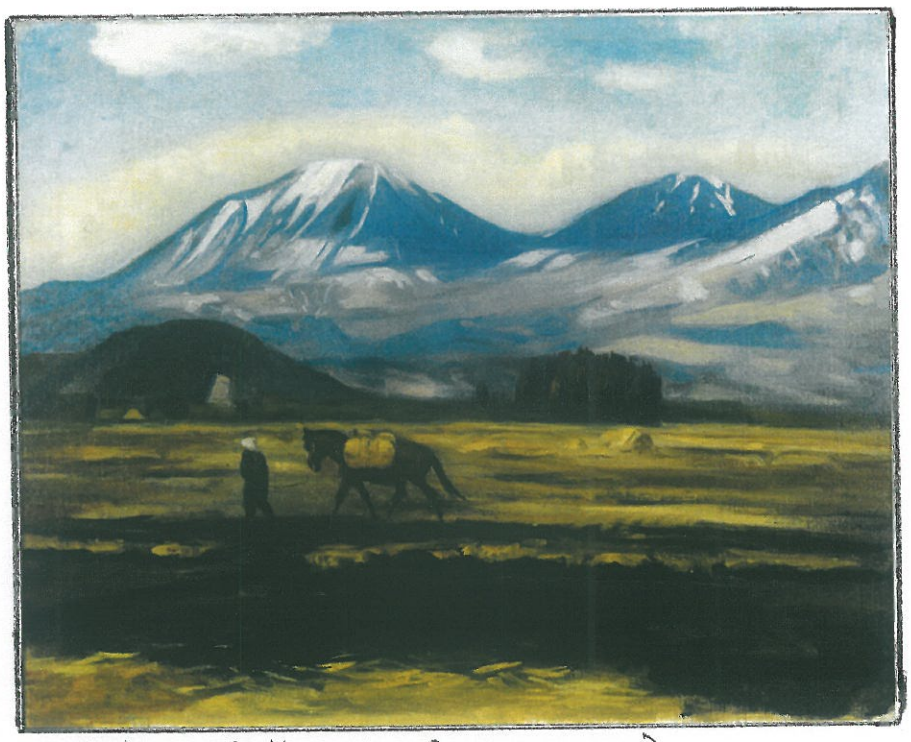
コートは不要。春の日ざしのなんと心地よいことでしょう。
川のほとりを歩いてみました。
枯草の土の感触もたのしく
大の字になって
霞んだ空を仰ぎました。

どんな意味があるのかな？

### ひし餅の色が表わしているものは

桃色…　命
白　…　雪
みどり…　芽

名句
雛祭る
都はづれや桃の月
蕪村



早春の日光三山（昭21年3月）　鶴田吾郎

「ネコヤナギ」

## 今月の予定

5（木）傾聴ボランティア
11（水）お楽しみ会
12（木）藤美会
16（月）習字
20（金）よさこいポイ
※おやつ作り

床屋さん
2（月）
11（水）
19（木）
27（金）

## 春の風物詩

### ヨシ焼き

渡良瀬遊水地が真っ赤な炎に包まれます。3月中頃

## 頭の体操

。地名が入ります。

（　）花嫁さん
（　）で逢いましょう
（　）のバスガール
（　）は今日も雨だった
（　）の夜は更けて
（　）和楽踊り

どうぞ
召し上がれ

## ヨモギの力

葉をもんで傷口にあてると止血効果がある。
陰干しにした葉を入浴剤に、神経痛・あせもに効果。

## 私の思い出のスター

K.T

ジェラール・フィリップ、今でも忘れないその名前。
銀幕のなかのひとだけどとても感じのいい美男だった。
「パルムの僧院」「肉体の悪魔」
表情も深く繊細で、ジェラール・フィリップ私一番のスターです。

## 天声珍語

花粉のいたずらに違いない。
目はショボショボとして涙さえ流れた。
そんな私の前に男があらわれた。
娘の彼だという。
泰然としているのだ。
ふところの深い慈愛に満ちた父を演じるのだ。決して自分の価値をおしつけてはならぬ。
言ってもならぬ。
その日の夜は、眠れなかった。
寝返りをうつと溜息が出た。
また寝返ると娘の顔がうかんだ。
朝になった。
目がショボショボして赤くはれている。花粉のいたずらではあるまい。

スズム